

1. 新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について②

2. V－S Y Sについて

3. ワクチンの取扱いについて（ファイザー②）

新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保に係る自治体説明会（第2回）

今回のご説明内容

■：今回のご説明対象



□：前回の説明会でご説明

1. mRNAワクチンの特徴

1-1.
核酸ワクチン

1-2.
mRNAワクチン

2. 接種運営

事前準備

2-1.
ワクチンの保管に
必要な物品の確認

2-2.
ワクチン接種に
必要な物品の確認

2-3.
ワクチンの
保管方法の確認

接種日の動き

2-4.
バイアルを取り出し
解凍

2-5.
希釈および接種用針
・シリンジへの充填

2-6.
接種

接種後の対応

2-7.
バイアルや注射針/
シリンジ等の廃棄

2-8.
不要になった
ドライアイスの廃棄

2-9.
配送箱の返却

3. 安全に接種 いただくための 情報提供および 収集のご案内

3-1.
情報提供の全体像

3-2.
医療従事者専用サイト

3-3.
被接種者向けサイト

3-4.
専用ダイヤル

本資料の位置付け

- 本資料は「ファイザー新型コロナワクチンに係る説明資料」からの抜粋です
- 「ファイザー新型コロナワクチンに係る説明資料」は、ファイザー新型コロナウイルスワクチン医療従事者専用サイトに掲載する説明資料をご確認ください
- 医療従事者専用サイトは、以下QRコード/URLからご参照ください

下記または右のQRコードからアクセスできます

<https://www.pfizer-covid19-vaccine.jp>

※2月以降にアプリ版をリリース予定です



目次

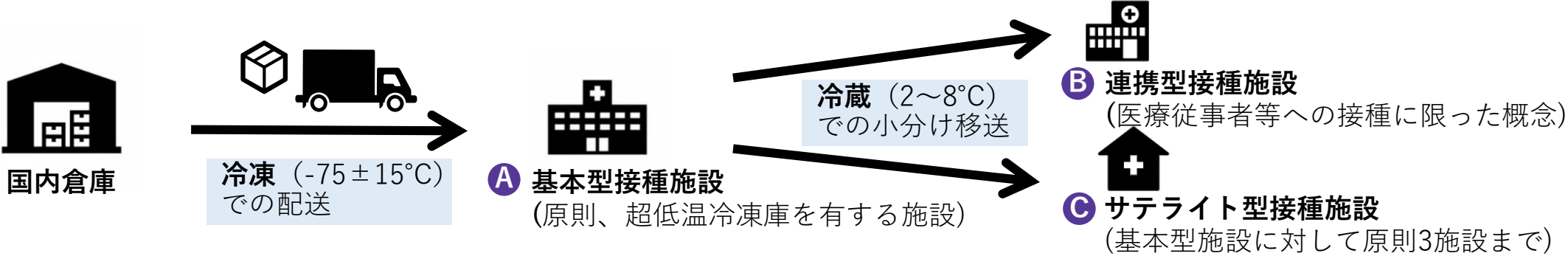
1. 接種運営

- 事前準備
- 接種日の動き
- 接種後の対応

2. 安全に接種いただくための情報提供および収集のご案内

2. 接種運営 パート1：（前提）接種施設の種類

- ワクチンは、基本型接種施設に冷凍で配送されます
- 連携型接種施設・サテライト型施設には、基本型接種施設より冷蔵で小分け移送されます



位置づけ・要件*				ワクチン等の流通フロー
	被接種者数	被接種者属性	所在地	
A 基本型接種施設	1,000人以上	自施設の職員 医療従事者 住民など	人口約15万に1か所以上を目安に設置	ファイザーが国内倉庫から冷凍 (-75 ± 15°C) で移送 冷蔵 (2 ~ 8°C) 状態で、以下のいずれかの方法で移送 - 基本型接種施設が実施 - 連携型/サテライト接種施設が実施 - 各自治体の実施
B 連携型接種施設	概ね100人以上	自施設の職員 医療従事者など	原則、基本型施設と同一都道府県内	
C サテライト型接種施設	(特別な要件なし)	高齢者施設入所者 住民など	原則、基本型施設から3時間以内の所在地 原則、基本型施設と同一市町村内	

* 厚労省の指定による区分です。最新の情報は厚生労働省の公開情報「新型コロナワクチンについて」を参照ください

2. 接種運営 パート1：事前準備

必要な物品やワクチンの保管方法は、施設のタイプにより異なります

2-1. ワクチンの保管に必要な物品の確認

2-2. ワクチン接種に必要な物品の確認

2-3. ワクチンの保管方法の確認

A	基本型 接種施設	超低温 冷凍庫 保管 	下記物品が揃っていることをご確認ください <事前の配送物、国/自治体が設置> - スターターキット - 超低温冷凍庫（$-75^{\circ}\text{C} \pm 15^{\circ}\text{C}$） <施設で準備> - 冷蔵庫（$2 \sim 8^{\circ}\text{C}$）	下記物品が揃っていることをご確認ください <事前の配送物> - ワクチン配送セット  - ワクチン書類キット  - 希釈用生理食塩液  - 接種用物品（注射針等）  - 移送用物品（保冷ボックス等）  <接種施設で準備> - その他の物品  （救急用物品、医療従事者用物品、医療用物品、会場設営用物品等）	受け取り時に $-75^{\circ}\text{C} \pm 15^{\circ}\text{C}$ が保たれた状態で配送されたことをご確認ください すぐに超低温冷凍庫に保管してください
		配送箱 保管 (例外) 	下記物品が揃っていることをご確認ください <事前の配送物> - スターターキット <施設で準備> - 冷蔵庫（$2 \sim 8^{\circ}\text{C}$）		受け取り時に $-75^{\circ}\text{C} \pm 15^{\circ}\text{C}$ が保たれた状態で配送されたことをご確認ください 配送箱内に、5日毎に定期的に届くドライアイスを補充してください
B	C	冷蔵庫 保管 	下記物品が揃っていることをご確認ください <事前の配送物> - スターターキット <施設で準備> - 冷蔵庫（$2 \sim 8^{\circ}\text{C}$）	下記物品が揃っていることをご確認ください <事前の配送物> - バイアル - ワクチン書類キット - 希釈用生理食塩液 - 接種用物品（注射針等） - その他の物品 （救急用物品、医療従事者用物品、医療用物品、会場設営用物品等）	ワクチンを基本型接種施設から受け取った後、すぐに冷蔵庫に保管してください

・スターターキットには、耐冷手袋・保護メガネ・スコップ等が入っています

1. 超低温冷凍庫
2. 冷蔵庫
3. スターターキット
4. ワクチン配送セット
5. ワクチン書類キット
6. 希釈用生理食塩液
7. 接種用物品
8. 移送用物品
9. 救急用物品
10. 医療従事者用物品
11. 医療用物品
12. 会場設営用物品

項目	物品名	基本型施設		連携型・サテライト型施設	
		内包物	準備方法	内包物	準備方法
3. スターターキット	耐冷手袋		✓	-	※基本型施設と同様
	ドライアイス取り扱い用保護メガネ		✓*1	-	V-SYS上にファイザーワクチン接種施設として登録された後に届きます
	ドライアイス取り扱い用スコップ		✓*1	-	※状況に応じて医療機関ごとに配送時期が前後することがあります
	接種会場用ポスター		✓	✓	
	接種会場用卓上ポップ		✓	✓	
	被接種者サイトのご案内		✓	✓	

*1:超低温冷凍庫を保有している場合は、送付されないことがあります。

※今後、状況に応じてスターターキットの内包物に変更または追加されることがあります

※都道府県・市町村に対しては上記物品と、接種体制構築のための動画メディア等をお送りします

・ ワクチン到着時に温度逸脱がないことを確認し、ワクチンを保管場所へ移動させてください

手順	イメージ
1. 配送日が近づいたら、配送業者からV-SYSに登録されたワクチン保管管理責任者へ連絡があります	
2. 受取人の身分証明書をご準備の上、配送業者からワクチンを受け取ってください ※室温下で、直射日光が当たらない場所で行ってください ※受取人はV-SYSに登録されたワクチン保管管理責任者以外の方でも問題ありません ※身分証明書は「写真付きの職員証等」（無い場合は「職員証等と写真付き身分証明」）をご準備ください	
3. 温度モニターに ✓ 印 が表示されていることを確認し、配送伝票にサインしてください ※室温の直射日光が当たらない場所で行ってください ※ × 印 が出ている場合は配送箱を配送業者にお渡しください。追って再配送連絡をいたします	 ☒ : OK（温度逸脱が発生） ☐ : NG（温度逸脱が発生）
4. 保管場所（室温）に移動させてください ※総重量は約30kgあるため、適宜台車等を活用し、2人で運んでください ※室温の直射日光が当たらない場所で行ってください	

2. 接種運営 パート1：事前準備

2-3. ワクチンの保管方法の確認
～ ② ③ 連携・サテライト型接種施設の場合(受取・保管方法) (1/2)～

- 基本型接種施設から小分け移送する際はワクチン分配管理台帳や情報連携シートへの記入を行い、国から支給された保冷ボックスに保冷剤を入れて移送してください
- 接種シール（台紙）とバイアルラベルのロット番号が一致していることを必ず確認してください

手順	実施者	手順	実施者								
1. ワクチン分配管理台帳*に記入してください (基本型接種施設名：) <table><tr><td>受け渡し日</td><td>受け渡し先のサテライト型接種施設名</td><td>受け渡したバイアル数</td><td>受け渡したロット番号（製造番号）</td></tr><tr><td>4月1日</td><td>●●病院</td><td>20本</td><td>XXXXXXXXXXXX</td></tr></table>	受け渡し日	受け渡し先のサテライト型接種施設名	受け渡したバイアル数	受け渡したロット番号（製造番号）	4月1日	●●病院	20本	XXXXXXXXXXXX	基本型接種施設	4. バイアルラベルのロット番号を確認し、同一のロット番号が記載されている接種シール（台紙）を用意してください ※ 接種シール（台紙）は1バイアルにつき1枚必要です バイアルラベル 接種シール（台紙）	基本型接種施設
受け渡し日	受け渡し先のサテライト型接種施設名	受け渡したバイアル数	受け渡したロット番号（製造番号）								
4月1日	●●病院	20本	XXXXXXXXXXXX								
2. 保冷バックにバイアルホルダーと保冷剤を入れてください ※ 国から支給されたものを利用してください	基本型接種施設	5. 情報提供シート*の「基本型接種施設記入欄」を記入してください （基本型接種施設記入欄） （サテライト型接種施設記入欄）	基本型接種施設								
3. 必要な分だけワクチンをバイアルホルダーに入れ、保冷バックを閉めてください ※超低温冷凍庫またはドライアイス入り配送箱から取り出した時点から5日以内に使い切る必要があります	基本型接種施設	6. その他、下記物品を用意してください 1施設につき1枚 - 添付文書、英語/日本語ラベル読替表、予診票 1バイアルにつき1つ - 希釈用生理食塩液 1バイアルにつき6つ - 接種用注射針・シリンジ	基本型接種施設								

*ワクチン分配管理台帳や情報提供シートの様式や、最新情報は厚生労働省からの通知(事務連絡)を参照ください

2. 接種運営 パート1：事前準備

2-3. ワクチンの保管方法の確認
～ ② ③ 連携・サテライト型接種施設の場合(受取・保管方法) (2/2)～

- 施設・自治体間で検討した方式で、基本型接種施設からワクチンを移送し、すみやかに2-8℃の冷蔵庫に移動させてください

手順	実施者																														
7. ワクチン及び、手順4～6で用意した物品を基本型接種施設からで移送してください ※ ワクチンは保冷バックに入れたまま、冷蔵状態を保つようにしてください	施設・自治体間で検討 - 基本型接種施設が実施 - 連携型/サテライト型接種施設が実施 - 各自治体が実施																														
8. 移送後、すみやかに自施設の冷蔵庫（2～8℃）で保管してください ※ 室温の直射日光が当たらない場所で行ってください ※ 再凍結しないでください	連携型/サテライト型接種施設																														
9. 受け取った情報提供シートの「サテライト型接種施設記入欄」を記入してください ※ 「冷蔵保管期限」は基本型接種施設が記入した「超低温冷凍庫から取りだした時刻」に+5日して記入してください ※ ワクチンは冷蔵保存期限までに使用してください ※ 「使用日/使用本数/残り本数」は使用時に記入してください （基本型接種施設記入欄） 基本型接種施設名： _____ 受け渡し先のサテライト型接種施設名： _____ 受け渡した日付： _____ 全数 _____ 年 _____ 月 _____ 日 超低温冷凍庫から取り出した時刻 _____ 年 _____ 月 _____ 日 全数・半量 _____ 年 _____ 月 _____ 日 全量 _____ 年 _____ 月 _____ 日 受け渡したバイアル数： _____ 受け渡したロット番号（製造番号）： _____ （サテライト型接種施設記入欄） 冷蔵保管期限： 全数 _____ 年 _____ 月 _____ 日 全量 _____ 年 _____ 月 _____ 日 （注）冷蔵保管期限は、全量・半量・全量から選択した時刻に+5日して記入すること。（例：超低温冷凍庫から取り出した時刻が4月1日午前10時の場合、使用期限は4月6日午前10時になります。） <table><tr><th>使用日</th><th>使用本数</th><th>残り本数</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	使用日	使用本数	残り本数																												連携型/サテライト型接種施設
使用日	使用本数	残り本数																													

目次

1. 接種運営

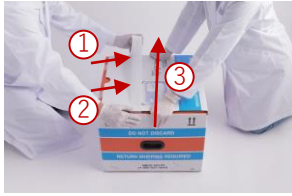
- 事前準備
- 接種日の動き
- 接種後の対応

2. 安全に接種いただくための情報提供および収集のご案内

- 必要な数のバイアルを超低温冷凍庫から取り出し、すみやかに冷蔵庫に移してください
- 2人以上で作業し、バイアルを冷蔵庫に移す担当と、バイアル箱を超低温冷凍庫に戻す担当に分かれて作業してください

超低温冷凍庫に保管している場合	
手順	イメージ
1. 耐冷手袋を準備してください	
2. 耐冷手袋を着用し、超低温冷凍庫からバイアル箱を取り出し、バイアル箱の封をカッターナイフで切って開封してください ※バイアル箱の超低温冷凍庫からの出し入れはできるだけ速やかに行ってください	
3. 医療用手袋等を着用した人が、バイアル箱から必要な数のバイアルを取り出し、すみやかに冷蔵庫（2～8℃）に移してください ※お急ぎの場合に室温で解凍した際は、冷蔵庫での保管はせず速やかに使い切ってください ※バイアルは一般的な医療用手袋等で取り扱ってください（耐冷手袋を用いると落下の危険があるため）	
4. 耐冷手袋を着用した人が、バイアル箱を超低温冷凍庫に戻してください	

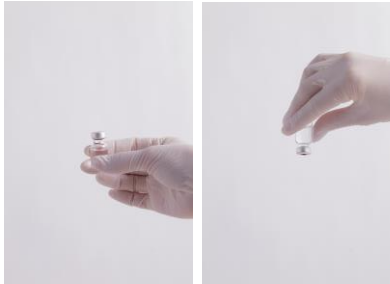
- 必要な数のバイアルを配送箱から取り出し、すみやかに冷蔵庫に移してください
- 2人以上で作業し、バイアルを冷蔵庫に移す担当と、配送箱を閉じる担当に分かれて作業してください（内蓋の開閉は3分以内に行ってください）

配送箱に保管している場合			
手順	イメージ	手順	イメージ
1. カッターナイフ・耐冷手袋・ストップウォッチ・配送箱開閉記録チェック表を準備してください ※ ストップウォッチがない場合は時計などで代用してください		5. バイアル箱から必要な数のバイアルを取り出してすみやかに冷蔵庫（2～8℃）に移してください ※ お急ぎの場合に室温で解凍したあとは冷蔵庫で保管をせず速やかに使い切ってください	
2. 耐冷手袋を着用し、ふたを止めているテープをカッターナイフで切って開封してください		6. 耐冷手袋を着用した状態で、バイアル箱・ドライアイス容器・内蓋を元に戻してください	
3. 耐冷手袋を着用した状態で、内蓋を開けドライアイス容器とバイアル箱を取り出してください ※ 内蓋の開封と同時に時間の計測を開始してください。 ※ 3分以内に手順6.までを完了させてください。		7. 配送箱を閉じ、隙間が空かないように上から押さえながら、3箇所に粘着テープを貼ってください ※ 1人が上から押さえながらもう1人が粘着テープを貼ってください	
4. バイアル箱を平らな場所においてください。 ※ バイアル箱はテープで閉じられているため、最初にバイアルを取り出す際はカッターナイフでテープを切る必要があります		8. 配送箱開閉記録チェック表に、日付や取り出したバイアルの本数などを記入してください	

- ・ 冷蔵庫の場合は3時間以内、室温の場合は30分以内に解凍されます
- ・ いずれの場合も解凍後の保管期間にご注意ください

手順	イメージ
2～8℃の冷蔵庫において、3時間以内に解凍されます ※個々のバイアルをバイアル箱から取り出して解凍する場合、解凍時間は短くなります ※冷蔵庫に入れてから、5日間以内に接種を完了させてください ※超低温冷凍庫またはドライアイス入り配送箱から冷蔵庫に移した日時を各バイアルやトレーに明記するなどし、冷蔵保管期間を適切に管理してください	
（お急ぎの場合）室温で30分以内に解凍することもできます ※室温で解凍した後は、2時間以内に希釈を完了させてください	

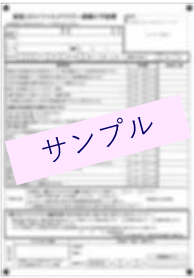
・ワクチンを生理食塩液で希釈し、希釈した日時をバイアルラベルに記録してください

手順	イメージ	手順	イメージ
1. (冷蔵庫で解凍した場合) バイアルは室温下にて、30分以内に室温程度になります		4. 針を抜く前に、空になった希釈用シリンジに空気を1.8mL吸引してください ※無菌操作を徹底するため、1つの生理食塩液のプラスチックアンプルで、2つ以上のワクチンバイアルを希釈せず、余った生理食塩液は廃棄してください	
2. バイアルを上下にゆっくりと10回反転(転倒混和)させてください ※白～灰白色の懸濁液になります ※バイアルは激しく振らないでください		5. 生理食塩液を注入したバイアルを上下にゆっくりと10回反転させてください ※バイアルは激しく振らないでください	
3. 生理食塩液のプラスチックアンプルとワクチンバイアルをアルコール綿で清拭し、希釈用シリンジに1.8mLの生理食塩液を吸引し、バイアル内に注入してください ※希釈用注射針は21Gもしくは21Gよりも細いものが推奨です		6. 希釈した日時をバイアルのラベルに記録し、室温で保管してください ※再冷凍せず6時間以内に接種してください ※直射日光および紫外線が当たらない場所で保管してください	

・希釈したバイアルから接種量0.3mLの溶液を接種用のシリンジに吸い上げてください

手順	イメージ
7. 接種用の注射針及びシリンジを準備してください	
8. 希釈したバイアルから接種量0.3mLの溶液を接種用のシリンジに吸い上げてください ※ バイアルには6回接種分の充填を行うための接種液が入っていますが、接種液の容量に余剰がないため、注射針を刺した状態で余分な接種液を戻す、空気を抜くなどの操作を行ってください ※ 注射針やシリンジの種類によっては6回接種分を充填しきれないことがありますので、必ず国から提供された注射針・シリンジを使用して接種液の充填を行ってください	
9. 接種液を充填したシリンジを医療用バット等の上に置いてください	

・被接種者の方に対して、予診票を用いて問診等を実施し、接種の意思の有無を確認してください

手順	イメージ
1. 予診票が適切に記入されていることを確認し、予診票を用いて問診・診察を行い健康状態が正常であることを確認してください	
2. 予診票の「医師記入欄」に接種可否・署名等を記入してください	
3. 被接種者の方に、接種の意思の有無を確認し、予診票の「新型コロナワクチン接種希望書」に接種同意の署名等をご記入頂いてください	新型コロナウイルスワクチン接種希望書（医師の診察の結果、接種が可能と判断された後に記入してください。） 医師の診察・説明を受け、接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望しますか。（☐ 接種を希望します ・ ☐ 接種を希望しません） この予診票は、接種の安全性の確保を目的としています。 このことを理解の上、本予診票が市区町村、国民健康保険中央会、国民健康保険団体連合会に提出されることに同意します。 年 月 日 被接種者自署 _____ （※自署できない者は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載）

・被接種者の同意（署名）と医師の署名を確認した上で、上腕の三角筋に接種してください

手順	イメージ
5. 被接種者の体位を整えてください ※接種部位を露わにし、肘を外側に張り出していただいでください	
6. 接種部位（上腕の三角筋）をアルコール綿で消毒してください	
7. 上腕の三角筋に筋肉内接種してください ※筋肉内接種の詳しい手技については別途動画による解説資料を準備いたします	
8. 被接種者に声かけし、しびれ感や、激しい痛みがないかを確認してください	

- ・ 接種後は、被接種者の方に各種案内をしてください
- ・ 15～30分程度は、接種を受けた施設で待機して頂いてください

手順	イメージ
9. 接種シールを予防接種済証と予診票に貼り付けて、予防接種済証と予診票（本人控え）を被接種者の方にお渡ししてください	予防接種済証用 接種シール 予診票用 接種シール 
10. 被接種者に対して、接種後の案内をしてください (未成年者の場合、保護者の方にもご案内ください) ・ 接種後15～30分程度は接種を受けた施設等で待機すること ※待機時間を利用して、予防接種済証のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取ることで、被接種者向けサイトにアクセスしたり、接種記録を残したりすることができます ・ いつもと違う体調の変化や異常があれば、すぐに申し出ること ・ 注射した部分は清潔に保つこと ・ 接種当日の入浴は差支えないが、その際には注射した部分はこすらないこと ・ 当日の激しい運動は控えること など	

目次

1. 接種運営

- 事前準備
- 接種日の動き
- 接種後の対応

2. 安全に接種いただくための情報提供および収集のご案内

2. 接種運営 パート3：接種後の対応

2-7. バイアルや 注射針/シリンジ等の廃棄

バイアルや注射針/シリンジ等は、
各医療機関のルールに従って廃棄してください

- バイアル
- 生理食塩液
- 接種用注射針/シリンジ
- 希釈用注射針/シリンジ
- アルコール綿・手袋・マスク

※配送箱は返却が必要ですので、
廃棄しないでください



2-8. 不要になった ドライアイスの廃棄

換気の十分な場所で配送箱を開け、室温で置き、
ドライアイスを昇華（気化）させてください

※密閉された空間や冷蔵庫などに放置した
ままにしないでください

※下水やトイレに流したり、ゴミ箱に捨てたり
しないでください



※ 配送箱の実際のイメージは上記と異なる場合があります

2-9. 配送箱の返却

配送箱に記載されている配送業者の連絡先に
電話し、配送箱の返却を依頼してください

※配送箱は使用後すぐに返却してください
遅くともワクチン受け取りから20日以内に
返却してください

配送業者が取りに来たら、配送箱を渡し、
送り状の控えを受け取ってください



目次

1. 接種運営

- 事前準備
- 接種日の動き
- 接種後の対応

3. 安全に接種いただくための情報提供および収集のご案内

3. 安全に接種いただくための情報提供および収集のご案内

・安全に接種いただくことを目的に、ファイザーから医療従事者・自治体・被接種者に対して、Webサイト・モバイルアプリ等を活用した情報提供を行っています



※予防接種事業においては、自治体関係者も医療従事者とみなされます

- ・ ワクチン接種を受ける方とそのご家族の方々のために、最新の情報を確認できるWebサイトを
用意しています

ファイザー新型コロナウイルスワクチンの 接種を受ける方とそのご家族の方々のためのサイト



被接種者向け特設サイトでできること

1. 製品に関する最新の情報を確認することができます
2. 接種サポート情報やコールセンターの案内等、
ワクチン接種に関する情報を確認できます

※ 接種前に必ずワクチンの安全性情報に関する資料「新型コロナワクチンを接種される方とそのご家族へ」をご確認ください

下記または右のQRコードからアクセスできます

<https://www.pfizer-covid19-vaccinated.jp>

※ 2021年2月中旬からアクセス可能となる予定です



ファイザー社 ワクチンの特性について 総括

ワクチンの種類

ウイルスベクターワクチン

DNAワクチン

mRNAワクチン

組み換えタンパクワクチン

ワクチンの特徴

特徴

抗原となるタンパク質を作り出すための設計図となるmRNAを直接体内に接種することで、抗原タンパク質を作り出します。

留意点

mRNA自体はとても不安定な物質であるため、安定性を確保できるよう超低温にて保管する必要があります。

ワクチンに関する最新情報の提供方法

- 本ワクチンに関する情報は、医療従事者専用Webサイトから入手することができます。(自治体担当者もアクセス可能です)
- 本資料に掲載している“ワクチンの特徴”・“ワクチンの取扱いについて”の詳細情報は同Webサイト上でご確認ください。
- FAQ、問合せ先の情報も併せて掲載しています。

ワクチンに関する 情報掲載先・ 問合せ先

ファイザー社新型コロナウイルスワクチン

- 医療従事者専用サイト：
<https://www.pfizer-covid19-vaccine.jp>
- 特設コールセンター
電話番号：0120-146-744
対応時間：09:00~20:00（平日・土曜日）



ワクチンの取扱いについて

- 本ワクチンは「**3週間間隔で2回接種**」です。
- ワクチン**バイアル1本で6回の接種**ができます。
接種場所には1箱195本届くため、1,170回接種ができます。
- ドライアイスにより超低温状態が維持された箱（**図1**）で届きます。（連携型・サテライト型接種施設には基本型接種施設より冷蔵（2～8℃）で移送する必要があります）
- 接種場所では、配送時の箱（ドライアイスで超低温状態を維持）または超低温冷凍庫で、**-75±15℃で保管**します（**図2**）。
- 接種時には解凍し、生理食塩液にて希釈し、厚労省支給の注射針・シリンジを用いて接種してください。

図1 配送されるワクチンセットのイメージ

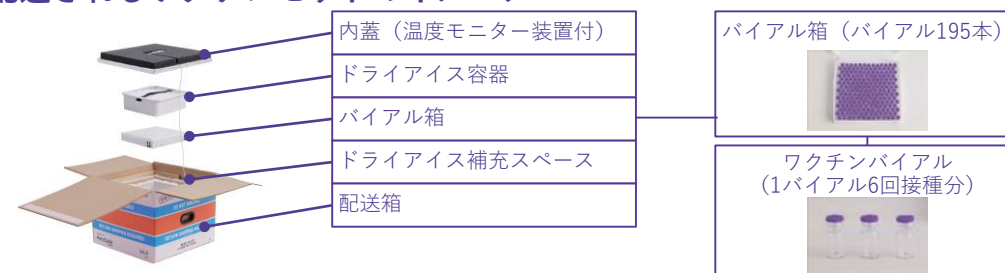


図2 ワクチンの保管方法

